



自分たちで製作した鬼のお面を付けて「豆まき」をしました。(園庭で元気に) NO.1



節分にちなんで、2日(金)に全園児による「豆まき」を行いました。

10時になり、クラスごと園庭に集合しました。それぞれが頭に自分たちで製作した「鬼のお面」を付け、園舎東側のペランダに座ったり園庭で遊んだりしています。全学年が集合すると、「公園に行きましょう」の曲が流れ、体操の時のようにクラスごとに並びます。いよいよ始まりです。



進行役の美奈先生と一緒に「朝のご挨拶」と、いつものように「5つのお約束」をみんなで言いました。次に、美奈先生から「今日は豆まきをします」という始まりの言葉があり、次に園長先生のお話がありました。「みんなの心の中にある『意地悪をする鬼』『すぐ泣いてしまう弱虫の鬼』などを追い出しましょう。また、そのために、『鬼は外』と言って外へ追い出し、幸せを呼ぶ福は『福は内』と言って自分の中に呼び込みましょう。」というような話がありました。「節分」と「豆まき」については、「季節の分かれ目：節分」は邪気が入りやすく、特に旧暦では立春のころは当時の新年の始まりだったため、最も大切な節目とされ、そこで「鬼を追い払う邪気祓いの行事」として「豆まき」が始まったのだそうです。



いよいよクラスごとの「豆まき」の始まりです。子ども達が先生と一緒に準備を始めました。(子どもたちの頭には色とりどりの「鬼のお面」がつけられ、また首からは「豆入れ」が下げられました。3学期に入り、今日のために各クラスで製作したものです。)

年長組の「お面」は、紙袋を半分に切り、その上に紙テープを自分でちぎって貼ったり渦状の画用紙を切って貼ったりしました。紙テープの切り方も、長くしたり短めにしたりと工夫され、個性豊かなお面に仕上がりました。「豆入れ」は「大豆＝納豆」と考え、おかめ納豆をイメージして作りました。白の円い画用紙にマジックで可愛らしく「おかめさん」を描いていました。それを鬼のパンツ模様の牛乳パックに貼って完成！年長さんらしく先生の手をあまり借りず、自分たちで頑張って作りました。さすが、年長さんですね♡



年少組・つぼみ組の「お面」は、まず先生方が男の子には青の工作紙、女の子には赤の工作紙を使って「サンバイザー」を作りました。そこに子ども達が、色画用紙に目や鼻、ツノなどを描き、ハサミで切ってサンバイザーに貼り付けました。また、鬼の髪の毛は毛糸を使い自分たちでくっつけました

